

P1~3・6 ミニ企画展
平成28年度新収蔵品展

P4 ミニ企画展
玻璃丸が浮かんだころ

P5 学芸員のノートから

大津歴史博 だより

第136回ミニ企画展

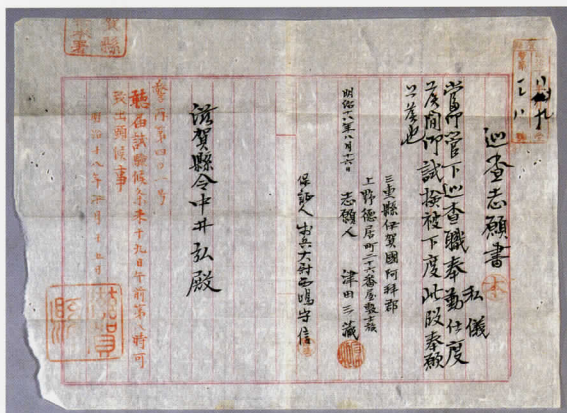
平成28年度 新収蔵品展

平成29年5月23日(火)~6月18日(日)



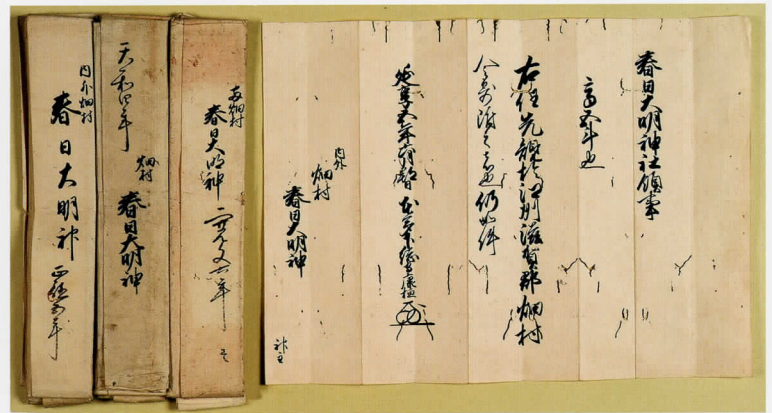
購入 4 瀟湘八景図巻のうち江天暮雪 月潭道澄筆 元禄 14 年 (1701)

近江八景の本歌である瀟湘八景を南宋の玉潤風に描いたもの。月潭道澄(1636-1713)は、彦根出身の黄檗僧です。



受贈 13 大津事件津田三蔵関係資料

津田三蔵の自筆書簡を含む貴重な資料群です。写真は津田三蔵滋賀県巡査志願書。



購入 5 膳所藩主本多氏歴代寄進状

膳所藩の歴代藩主が、内畑・外畑村の氏神である春日大明神へ神領5斗を寄進した文書です。

平成28年度 新収蔵品展

会期：5月23日（火）～ 6月18日（日）

【休館日：月曜日】

歴史博物館では、大津や滋賀にかかわる様々な資料を継続的に収集しています。平成28年度は、購入6件、受贈17件の合わせて23件の資料が新たに加われました。紀樞亭による大津絵の見立てや地元ゆかりの柴田晩葉や渡辺公観の絵画作品、膳所藩主歴代の寄進状や坂本の山門公人に関する古文書、そのほか津田三蔵や大津祭に関わる資料など、いずれも大津の歴史と文化を語るうえで大変貴重な資料ばかりです。

ミニ企画展では、新たに加わった新収蔵品を展示いたします。バラエティー豊かな資料の数々を、この機会にぜひご覧ください。

購 入

1	大津絵見立忠臣蔵七段目図 <small>きばいてい</small> 紀樞亭筆	1 幅	江戸時代
2	景山出羽宛書状（旧景山家文書）	9 件	江戸時代
3	上関寺町絵図	1 鋪	江戸時代
4	<small>しょうしょう</small> 瀟湘八景図巻 <small>げつ たん どうちよう</small> 月潭道澄筆	1 巻	江戸時代
5	膳所藩主本多氏歴代寄進状	11 通	江戸時代
6	大津祭曳山協賛会記念扇子	15 本	昭和（戦後）

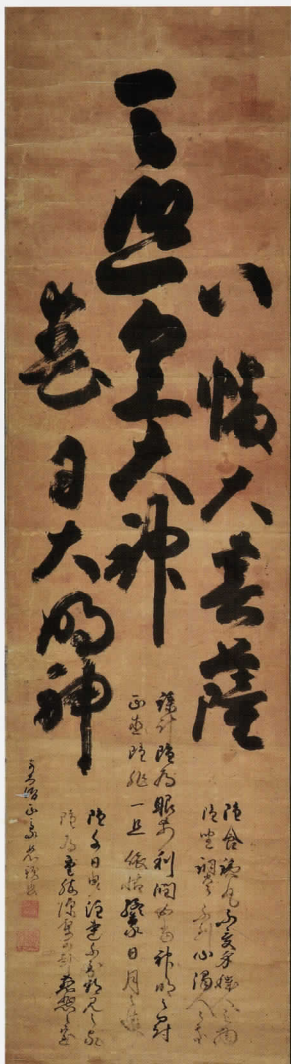
受 贈

1	水郷図 <small>しば たばんよう</small> 柴田晩葉筆	1 幅	昭和（戦前）
2	樹下網干図 柴田晩葉筆	1 幅	大正時代
3	大笹に螢図 柴田晩葉筆	1 幅	大正時代
4	高砂図 柴田晩葉筆	1 幅	大正時代
5	旭日波濤図 <small>はとう</small> 柴田晩葉筆	1 幅	大正時代
6	桜に雀図 柴田晩葉筆	1 幅	大正時代
7	松林山水図 柴田晩葉筆	1 幅	昭和（戦前）
8	海辺松図 柴田晩葉筆	1 幅	昭和（戦前）
9	旭日波濤双鶴図 柴田晩葉筆	1 幅	昭和（戦前）
10	三井寺・瀬田唐橋図 柴田晩葉筆	1 幅	大正時代
11	柴田晩葉筆スケッチ・色紙・短冊・団扇 附 柴田晩葉関係資料	一括	大正～昭和（戦前）
12	田家霽雪図 <small>さいせつ</small> 渡辺公観筆	1 幅	昭和（戦前）
13	大津事件津田三蔵関係資料（町井家旧蔵）	一括	明治時代
14	下阪本柳町伊勢講神号 <small>こうじょ</small> 豪恕筆 附 文書一括	1 幅	江戸時代
15	琵琶湖観光関係資料	13 点	大正～昭和
16	船幸祭写真	20 点	昭和（戦後）
17	石山貝塚出土資料	一括	縄文時代

※個々の資料は、当館ホームページでも詳しく紹介しています。

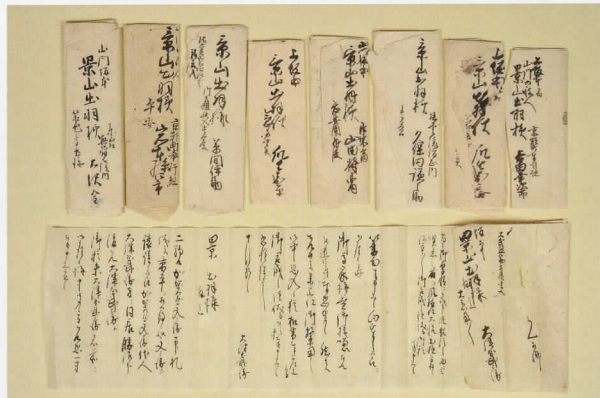
伊勢講で掛けられていた神号軸。地元に縁のある高僧による揮毫です。

受贈14 下阪本柳町伊勢講神号 豪恕筆



購入1 大津絵見立忠臣蔵七段目図 紀楳亭筆

大津絵のキャラクターが、仮名手本忠臣蔵七段目の役に見立てて描かれています。



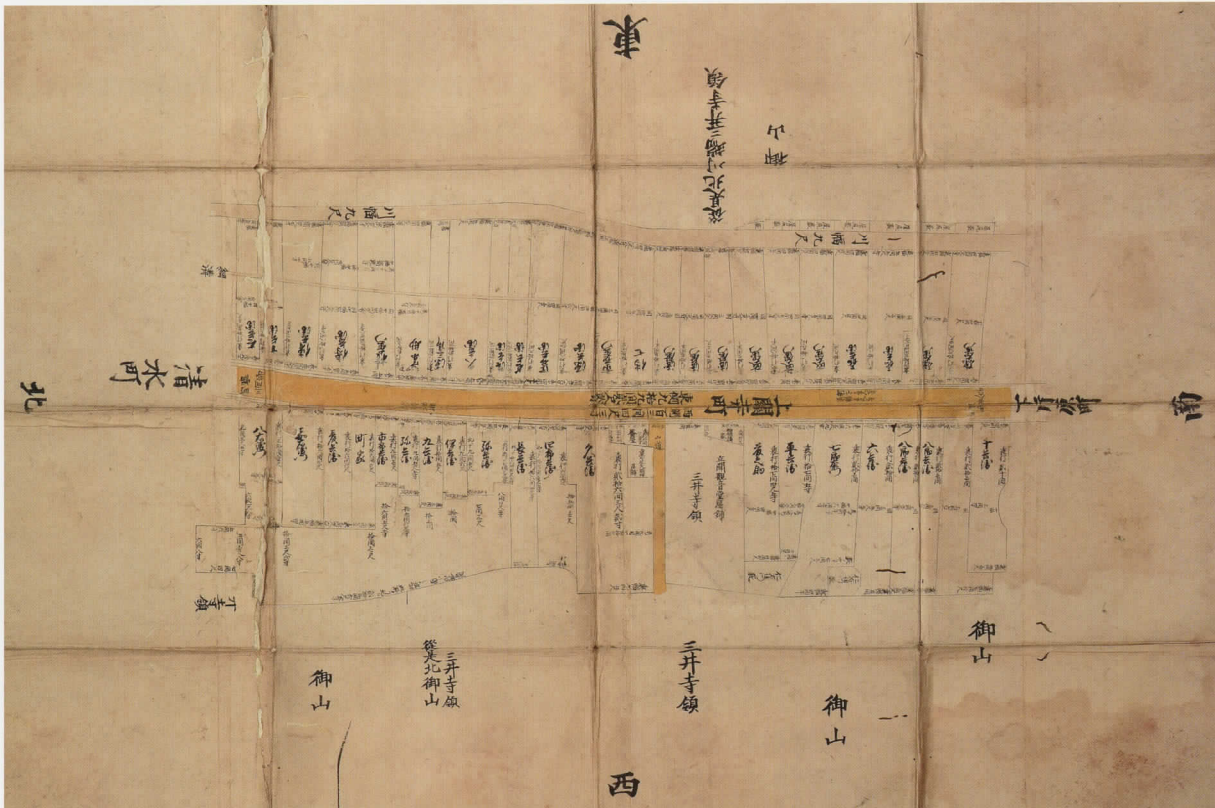
購入2 景山出羽宛書状 (旧景山家文書)

比叡山延暦寺のもとで年貢収納、末寺への往信や山王祭に関与した山門公人景山家旧蔵の古文書です。



受贈16 船幸祭写真

昭和45年頃に撮影された建部大社船幸祭の様子。湖畔の街並みがリバーサルフィルムで記録されています。



購入3 上関寺町絵図

江戸時代に描かれた上関寺町の絵図。現在の逢坂一丁目、国道1号と161号が分岐するあたりです。

玻璃丸が浮かんだころ

会期：6月22日（木）～ 7月30日（日）
【休館日：月曜日（7月17日を除く）、7月18日】



玻璃丸の進水式 昭和26年
琵琶湖汽船株式会社蔵

歴史博物館には、近代以降の琵琶湖をとりまく観光にかかわる資料が、館蔵・寄託を含めて数多く収蔵されています。昨年秋に開催したミニ企画展「昭和の琵琶湖観光案内」では、大正から昭和（戦前）を中心に琵琶湖の観光関係資料をご覧いただきました。今回はその続きにあたる、戦後から高度経済成長期にかけての琵琶湖の観光を振り返る展覧会です。

昭和25年7月24日、琵琶湖は日本初の国定公園に指定されました。その翌年、琵琶湖に浮かんだのが大型観光船「玻璃丸」です。特徴的な操舵室を持つ白亜の船は、戦後の「琵琶湖の女王」として、戦前の琵琶湖のにぎわいを取り戻す原動力となりました。昭和57年に現役を引退した玻璃丸ですが、博物館のロビーに常時展示している20分の1の模型（琵琶湖汽船株式会社蔵）には、今も当時を懐かしむ方が多く立ち止まられます。

今回はタイトルにも取り上げた、玻璃丸就航時の宣伝媒体（「竹生島めぐり」や「たそがれショーボート（納涼船）」などのポスター・パンフレット）や観光遊覧の水上飛行機の写真など、様々な資料から、当時の琵琶湖周辺の観光の様子をご紹介します。



水上飛行機乗り場 昭和36年
本館蔵（谷本勇氏撮影）



島めぐりパンフレット
琵琶湖汽船株式会社蔵

園城寺領絵図と如意寺伝来千手観音立像

本館の収蔵品のなかに、「園城寺領絵図」というものがあります。これは幕末頃に描かれた園城寺境内の様子を示す絵図ですが、寺内の坊を細かく記しており、仏像を研究する上でもなかなか重宝する資料です。今回は、園城寺所蔵^{にょいじ}如意寺伝来という千手観音立像（重要文化財 9世紀 奈良国立博物館寄託）とこの絵図についてお話しします。

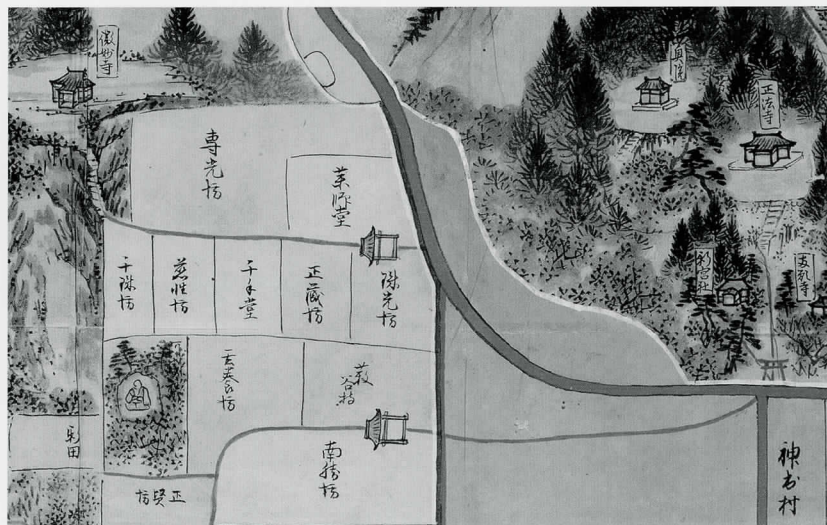
この像が伝来した如意寺は、京都市の東山にそびえる如意ヶ嶽にあった園城寺の別院です。ところが如意寺は、文明元年（1469）頃に兵火に遭い焼亡。『江州滋賀郡長等山園城寺旧記法会神事記』には、「園城寺別院 正東山如意寺旧跡 一、本堂 本尊千手観音 旧地纔至今領之 但本尊竝什物等移三井寺仮堂、（中略）園城寺別所 微妙寺（中略）一、如意寺仮堂 一字 本尊千手観音（後略）」とあり、本尊の千手観音像は園城寺の五別所の一つ、微妙寺（廃絶。大津市小関町）の仮堂に安置されたようです。さらに『園城寺記』では「一、微妙寺（中略）一、千手観音堂、如意寺本尊也」と、元禄5年（1692）の『元禄五年寺社僧坊改記』には「一、無年貢地 微妙寺之内 如意寺本尊観音堂、二百二十年以前文明年中再興」とあり、そのお堂は「如意寺仮堂」、「千手観音堂」、「観音堂」などと呼ばれていたようですが、具体的な場所は不明でした。そこで本図をみると、微妙寺の北麓に坊が立ち並ぶ中、正蔵坊（橋本家住宅として現存。大津市小関町 3110）の南隣（絵図では左側）に「千手堂」と書き込みがあります（東京国立博物館蔵「東海道分間延絵図」では同じ場所に「千手観音堂」）。これを見る限り、如意寺像の安置場所はおそらくここと想定することが可能でしょう。微妙寺に移された客仏ということもあり、寺内ではなく門前の坊の一角に一堂を建立して安置されたのかもしれませんが。その後本像は、少なくとも明治22年（1889）には園城寺の観音堂（正法寺 写真の右上）に移されましたが、昭和45年に奈良国立博物館に寄託され、現在に至っています。

偶然にも北隣の旧正蔵坊が現存しているので、今でもその場所が明確にわかります。現地とこの絵図、さらに現存する千手観音像により、我々はいにしえの安置の様子を想像でき、より往時の活況をリアルに体感することが出来るのです。

（学芸員 寺島典人）



重要文化財 千手観音立像
平安時代 園城寺蔵



園城寺領絵図（部分 向かって右が北）
江戸時代 本館蔵

受贈5 旭日波濤図 柴田晩葉筆
 受贈1から11(受贈1覧参照)は、晩葉の遺族によって収集されたもの。そのなかには、下絵などの資料も含まれています。



受贈3 大笹に虫図 柴田晩葉筆



受贈2 樹下網干図 柴田晩葉筆



受贈1 水郷図 柴田晩葉筆



購入6 大津祭曳山協賛会記念扇子

毎年祭りで製作された扇子。曳山13基分が揃っています。



受贈15 琵琶湖観光関係資料

写真は市観光課が作成した昭和20年代のパンフレット。

ご利用案内



■常設展示観覧料

区分	個人	団体(15名以上)
一般	320円	250円
高校生・大学生	240円	190円
小学生・中学生	160円	120円

- ◆大津市内在住の65歳以上の方は一般料金の半額。
- ◆市内在住の障害者の方、市内在住の介護保険の要介護者の方・要支援者の方は無料(証明するものをご提示ください)。
- ◆ミニ企画展は、常設展観覧料でご覧いただけます。
- ◆企画展の観覧料については、その都度定めます。

■開館時間

午前9時～午後5時(展示室への入場は午後4時30分まで)

■休館日

月曜日(祝日・振替休日の場合は開館し、翌日が休館)
 祝日の翌日(土・日曜日の場合は開館)
 年末年始(12月27日～1月5日) 館内点検(6月20日～21日)
 その他、業務の都合により休館する場合があります。

— 歴博カードのご案内 —

当館主催の展示会を自由にご観覧いただける定期観覧券です。また、当館発行の出版物や催し物の割引、様々な情報のご案内など、多くの特典を設けております。(1年間有効)

料金	一般	高大学	小中学
	2,000円	1,500円	1,000円

★詳しくは博物館までお問い合わせ下さい。



大津市歴史博物館

〒520-0037 滋賀県大津市御陵町2番2号
 TEL 077-521-2100 FAX 077-521-2666
<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>